＜概況＞

設置管理者	防衛大臣
位置	N 43° 7′ 3″ E 141° 22′ 53″
標高	8m
面積	103ha
着陸帯	1,620m×300m　D級
滑走路	1,500m×45m　LA-4
誘導路	1,530m×18m
エプロン	38,440㎡　M5、S22
航空保安施設等	VOR/DME ASR/SSR PAR
駐車場	367台
運用時間	07:30～20:30

出典：平成16年3月1日防衛庁告示第44号

＜沿革＞

昭和17年9月	旧陸軍飛行場設置
昭和21年	米軍接収
昭和29年4月	陸上自衛隊移駐
昭和33年12月	防衛庁告示第167号により「札幌飛行場」となる
昭和36年11月	公共用飛行場に指定（滑走路 1,000m）
昭和39年12月	ターミナルビル供用
昭和42年11月	滑走路延長（1,400m）
昭和49年12月	道外定期路線を千歳へ完全移管
昭和52年7月	滑走路方位変更（15/33 → 14/32）
平成3年8月	エプロン拡張
平成4年2月	新ターミナルビル供用
平成13年6月	滑走路延長等事業着手
平成16年3月	滑走路延長（1,500m）、エプロン拡張、駐車場拡張
平成17年12月	エプロンロードヒーティング供用
平成20年11月	ターミナルレーダー管制運用開始
平成28年6月	FDAが夏ダイヤ限定で静岡線を開設（リージョナルジェット機を初導入）
令和4年3月	FDAが夏ダイヤ限定で松本線を開設
令和5年3月	FDAが夏ダイヤ限定で名古屋（小牧）線を開設